

更新研修フェイスシート（研鑽計画）作成例（作成マニュアル付き）

作成日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名	氏名・所属機関名・役職、精神保健福祉士の経験年数や所属年数を記載してください。 ※ただし、所属機関名や役職等は、ご所属がない場合や所属機関の記載を希望しない場合は記入不要です。	年 月 日
所属機関（施設）名		年 月 日
役職		年 月 日

実施期間（予定）	記入不要です。
振り返り担当者	
管理者	

管理者確認欄

※必要に応じて所属管理者が確認し署名又は押印します

所属機関（施設）の役割	<ul style="list-style-type: none"> ※ 組織や所属で設定されている目標や方針を記載します ※ 特に設定されていなければ、あなたの考える所属機関の役割を記載してください ※ ただし、ご所属がない場合は記入不要です。
-------------	--

なりたい自分（個人の目標）	(1) 年後	<p>長期的なあなたの未来像や個人の目標について、時期を設定の上、記載してください。今回は1年間の研鑽計画なので、1年とします。</p>
---------------	----------	--

No.	求められる力量	ステップ 番号	具体的な達成課題 「〇〇することができるようになる」表記	選定理由・重要度 選んだ理由・動機	重要な項目に○	達成方法 具体的な手段（研修/SV/OJT等）と手順（いつ・どのように）	期日 （達成状況確認 予定時期）	優先度 第4位 まで
【仕事と暮らしの調和】								
(1)	健康状態の自己管理／仕事と家庭のバランス	ステップ 4	① 健康管理に協力ができる					
【社会人・組織人としての力】								
(1)	基本姿勢やマナー／組織人としての役割遂行	ステップ 5	② 業務や役割を担うこと					
【専門職・実践者としての力】								
(1)	専門的支援関係形成力	ステップ 4	③ 任者として、関係形成ができるようになる					
(2)	アセスメント力	ステップ 4	④ した問題など、多くのイベントに対して、適切になる					
(3)	支援・介入・調整力	ステップ 5	⑤ ことができるようになる					
(4)	連携・協働・チーム形成力	ステップ 5	⑥ a.必要な支援者や関係機関と連携が取れるよう、組織的としての調整や体制整備ができるようになる	個々に支援者と連絡を取り合っており、組織としての体制が整っていない。		区内の医療機関や支援事業所と地域移行の連携会議を定期的開催する。院内でも他職種とプロジェクトチームを作る。	年度内	1
(5)	コミュニティへのアプローチ・ソーシャルアクションの力	ステップ 3	⑦ a.制度・政策的な側面種協議会や審査会を運営状について共通理解が景を示すことができる					
【自己研鑽】								
(1)	専門性を養うために学び続ける力	ステップ 5	⑧ a.社会のあらゆる分野新の知識や情報を積極的にすることができるようになる					
【専門職教育・研究】								
(1)	ソーシャルワーカーを育てる力／研究、実践成果を示す力	ステップ 4	⑨ (1)d.機関内の後進育成とができるようになる					
【ソーシャルワーカー意識】								
(1)	ソーシャルワーカーアイデンティティ・モチベーションを維持する力	ステップ 5	⑩ a.ソーシャルワーカーち続ける体制を構築					

① ※精神保健福祉士のキャリアラダーを参照して、現在の自分が考えるステップをリストから選択してください。

※なお、**全項目すべてについて入力してください。**

※ステップについては、現在の経験年数にこだわらず、全項目それぞれに異なるステップとなっても構いません。

③ ※取り組みたい項目を最低**1項目選び**、なぜその項目を選んだかを記載します。

この例では連携・協働・チーム形成力を選んでいました。

※更新研修後1年間の研鑽計画を作成する際にはすべての項目を記載します。

更新研修後、自分の目標を踏まえて、自分にとって重要な項目に○を付けます。○はいくつつけてもかまいません。今すぐ取り組まない課題でも長期的視点で重要な項目であれば○をつけて下さい。

④ ※選んだ項目について、手段と手順について記載します。

※更新研修時の演習の面談で、追加で取り組む項目が生じたり、助言によって手段等に修正があれば、面談後に追記・修正します。

※更新研修後に取り組む項目を増やしてみましょう。すべての項目を記載する必要はありません。取り組まない項目は空欄にします。

⑤ ※左に入力した取組について、達成状況を確認する予定時期をリストから選択します。

※振り返りの予定時期はあくまで目安です。

※演習での振り返り担当者との面談で、助言を踏まえて修正します。

※更新研修後の項目を追加した場合はこちらを追加します。

⑥ ※優先度をリストから選択します。

※演習での振り返り担当者との面談で、助言を踏まえて修正します。

※更新研修後の項目を追加した場合はこちらを追加します。

※優先度は第4位までとします。

第 _____ 回更新研修フェイスシート（研鑽計画）

作成日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名	精神保健福祉士	年	か月
所属機関（施設）名	所属	年	か月
役職			

実施期間（予定）	～
振り返り担当者	
管理者	ak

管理者確認欄

※必要に応じて所属管理者が確認し署名又は押印します

所属機関（施設）の役割	
-------------	--

なりたい自分（個人の目標）	(1) 年後

No.	求められる力量	ステップ	具体的な達成課題	選定理由・重要度		達成方法	期日	優先度
		番号	「〇〇することができるようになる」表記	選んだ理由・動機	重要な項目に○	具体的な手段（研修/SV/OJT等）と手順（いつ・どのように）	（達成状況確認予定時期）	第4位まで
【仕事と暮らしの調和】								
(1)	健康状態の自己管理／仕事と家庭の							
(2)	バランス							
【社会人・組織人としての力】								
(1)	基本姿勢やマナー／組織人としての							
(2)	役割遂行							
【専門職・実践者としての力】								
(1)	専門的支援関係形成力							
(2)	アセスメント力							
(3)	支援・介入・調整力							
(4)	連携・協働・チーム形成力							
(5)	コミュニティへのアプローチ・ソーシャルアクションの力							
【自己研鑽】								
(1)	専門性を養うために学び続ける力							
【専門職教育・研究】								
(1)	ソーシャルワーカーを育てる力／研							
(2)	究、実践成果を示す力							
【ソーシャルワーカー意識】								
(1)	ソーシャルワーカーアイデンティ							
	ティ・モチベーションを維持する力							